

第49回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1997年7月18日（金）10:00～12:00

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員  
建設省土木研究所 田村振動研究室長  
〃 建設研究所 大川第一耐震研究室長  
労働省産業医学総合研究所 櫻井所長、中村企画調整部長、  
小泉有害性評価研究部主任研究官  
防災科学技術研究所 片山所長、大谷防災総合研究部長  
田中管理部長  
金属材料技術研究所 岡田所長、斎藤研究総務官  
野田第2研究グループ総合研究官  
細川企画室総括研究企画官

（事務局等）伊藤原子力調査室長  
池本専門委員  
研究技術課 石川  
建設省 安達、飯塚、松島  
労働省産業医学総合研究所 西村、吉澤、吉越  
防災科学技術研究所 小川、御子柴、岩波  
金属材料技術研究所 杉山、水野  
原子力調査室 杉本、新井

4. 議 題

- （1）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて  
（建設省、労働省、防災科学技術研究所、金属材料技術研究所）
- （2）その他

5. 配布資料

- 資料1 第48回原子力委員会定例会議議事録（案）
- 資料2 平成10年度原子力関係予算ヒアリング資料  
（建設省）
- 資料3 平成10年度国立機関原子力試験研究費要求書  
（労働省産業医学総合研究所）
- 資料4 平成10年度原子力関係予算概算要求総括表  
（防災科学技術研究所）
- 資料5 平成10年度概算要求総括説明資料  
（金属材料技術研究所）

6. 審議事項

- （1）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて  
（建設省、労働省、防災科学技術研究所、金属材料技術研究所）  
標記の件について、建設省より資料2に基づき、労働省産業医学総合研究所より資料3に基づき、防災科学技術研究所より資料4に基づき、金属材料技術研究所より資料5に基づき、説明があった。  
これに対し、委員より  
（金属材料技術研究所に関して）

- ・クロスオーバー研究など、他の研究機関や施設などを有効に共同利用し、発展性をもって進めることが大切
  - ・基礎研究分野については大学との連携なども考慮しながら進めていってほしい。また、国際的な観点からCOE機関としての自覚を持って研究成果をあげてほしい
  - ・材料研究は重要であり、貴研究所に整備されつつある施設などを、研究所以外にもオープンな形で大いに活用していくことを期待している
- 等の意見があった。

## (2) 議事録の確認

事務局作成の資料1第48回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。

なお、事務局より、予算ヒアリングの関係で、次回委員会の開会を10時とする方向で調整したい旨発言があり、その方向で対応することとした。